

わが

「人も元気に まちも元気に 光輝く美唄」を目指して

はじめに

美唄市は、札幌と旭川の中間に位置し、南北に国道12号、道央自動車道、JR函館本線が縦貫する交通の要衝です。

市の中心部にはJR美唄駅があ



癒やしの芸術空間として再生された「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」

り、札幌までは特急列車で約35分と通勤・通学圏内で、「落ち着いた環境での暮らしを楽しみながら、都会での仕事を両立したい」という希望を持ち、移住を考える方々から、近年高い注目を集めております。

基幹産業は農業で、北海道屈指の米どころであり、全国米・食味分析鑑定コンクールで北海道産米として、初めて金賞に輝いた美唄産「おぼろづき」や「ななつぼし」などを作付けするほか、その昔、アイヌの人たちが「不老長寿の実」として食べていたといわれるハスカップは、日本一の収穫量を誇っております。

かつて、本市は国内最大の産炭地域の1つとして、日本の近代化を支え、中でも三井・三菱の2大財閥による炭鉱がしのぎを削り、

10を超える炭鉱が操業していましたが、昭和38年に三井、昭和47年に三菱炭鉱が閉山し、その翌年にはすべての炭鉱がその歴史を閉じました。

炭鉱関連施設は生産から生活まで多岐にわたり現存しており、閉山から年月を経た現在も炭都の記憶を今に伝え、その1つとして、炭鉱の最盛期には1200人もの子どもたちが通っていた学び舎、旧栄小学校があります。この施設は世界的彫刻家・安田侃氏の作品約40点を常設展示した「安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄」として、美唄の自然、歴史、そして人々の「ふるさと」への思いが調和し、ゆったりとした時間が流れ、国内外から多くの観光客が訪れる癒やしの芸術空間として再生されています。

「やっかいものの雪の有効利用」

本市の年間の平均降雪量は8mあり、国の特別豪雪地帯にも指定され、冬は辛く、「雪」はやっかいなものとして扱われておりました。が、冷房に「雪」を利用する環境配慮型データセンター「ホワイトデータセンター構想」を企業誘致の柱として提案し、雪冷熱エネルギーにより冷房費用が低減することで、大幅なランニングコストの削減を可能とする一方で、コンピュータ機器の発熱を利用した植物工場や陸上養殖施設等を建設するなど、データセンターを中心とした新たな産業クラスターの創出を目指しています。

サイクルツーリズムの推進

本市と富良野市を結ぶ道道美唄富良野線の開通を見据え、観光交流関連の情報発信や特産品等のPR、外国人観光客の取り込みを視野に入れたサイクルツーリズムの

推進などによる交流人口の増加が見込まれることから、サイクリストに特化した宿泊施設を本年度末に「ビバの湯 ゆりりん館」に完成させる予定です。

また、台湾の自転車協会や中華大学との交流から、自転車国際会議「ベロシティー・グローバル2016」への参加に加え、平成28年11月には、中華大学との連携協定の締結をしたところであり、インターシップ事業をはじめ、サイクルツーリズムを含む相互の観光振興や物産振興に結びつく多様な交流の展開につなげていきたいと考えています。

子育て環境の充実

本市では、平成28年4月に老朽化の著しい3つの市立保育所を統合した、新たな保育所の開園により、保育環境の向上が図られたほか、本年4月からは、子どもが病気の際に、保護者の就労などにより、自宅での保育が困難な場合、病気の子どもを一時的に保育する病児保育室を整備するなど、このまちに住み、子どもを産み育てたいと思えるような子育て環境の充実に努めていきたいと考えて

います。

活力あるまちづくりへ

本市が、活力あるまちづくりを進めるためには、多様な人材の育成に向けた展開を図っていくことが重要なことから、専門教育や高等教育を受ける機会を地元で用意することが、まちの将来を展望したときに不可欠と考え、札幌国際大学、札幌大学、札幌大谷大学等に協力いただき、平成24年度から美唄サテライト・キャンパスとして、本市の「食」「農」「環境」などを生かした講座を開設し、多くの市民の皆さんに受講いただいております。

また、市民の皆さんが心身ともに健康で、生き生きと暮らすことのできるまちを目指して、平成28年、「スポーツ健康都市」を宣言したほか、同年7月には、道内でも最も早く「受動喫煙防止条例」を制定し、2020東京オリンピックの正式種目となったスポーツクライミング設備を美唄市体育センターに整備しました。市民はもとより、多くのアスリートが訪れており、この中からオリンピックが生まれることを期待しております。

このように本市の地域資源である食・農・アートを最大限に生かし、「人財」の育成に努めるとともに、「美唄市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づいた雇用の創出や子育て環境の充実、観光・交流などの取り組みを通し、美唄のまちに「住み続けたい・住んでみたい・行ってみたい」と思っていただけのようなまちづくりを市民の皆さんと一緒に実現していきます。

プロフィール

- ◆ 面積 277.69 km²
- ◆ 人口 2万2437人
- ◆ 世帯数 1万1894世帯

〔将来都市像〕食・農・アートが響き合う緑のまち 美唄

〔まちの特徴〕石狩平野のほぼ中央に位置し、札幌市と旭川市の中間に広がる道内有数の穀倉地帯

〔特産品〕米、アスパラガス、ハスカット



美唄市長
高橋幹夫



プ、美唄焼き鳥、とりめし、美唄式やきそば
〔観光〕安田侃彫刻美術館 アルテピアッツァ美唄、宮島沼、東明公園、ビバの湯 ゆりりん館
〔イベント〕びばい桜まつり、びばい歌舞裸まつり、美唄雪んこまつり



平成28年、体育センターに整備した「ボルダリング壁」(クライミング施設)

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「住んでみたい ずっと住み続けたい 魅力ある快適みらい都市」の実現に向けて

本市の特性を生かした まちづくり

新座市は、埼玉県の最南部、東京都心から約25km圏内に位置し、交通至便な地域でありながら、雑木林や畑が多く残されており、武蔵野の面影を残す自然環境に恵まれています。

この地域特性と、平林寺や野火止用水を代表とする歴史的遺産、地場野菜などの豊富な農産物を結び付けた「観光都市にいざ・雑木林とせせらぎのあるまちづくり」が、平成16年に国の地域再生計画として認定され、現在までさまざまな事業を実施し、観光都市づくりを進めてまいりました。

また、JR武蔵野線新座駅周辺で土地区画整理事業を進めており、新座駅北口土地区画整理事業

では平成33年までに駅前広場を含め31・6haを、また、大和田二・三丁目地区土地区画整理事業では平成32年までに49・5haを施行いたします。

喫緊の課題である人口減少と少子高齢化への対応として、この2つを市政運営の柱としてまいりましたが、本市の少子高齢化は今後さらに進行することが明らかで、現在の人口動態で推移すると平成37年をピークに人口は減少に転じる見込みです。そこで、将来を見据え、多くの人に「住んでみたい、ずっと住み続けたい」と思っただけのまちづくりをさらに進めてまいります。

都市高速鉄道12号線（大江戸線）の延伸

東京都練馬区光が丘から東京都

庁を経由し、六本木、両国などを

通って再び都庁に戻る都市高速鉄道12号線（大江戸線）は、光が丘から練馬区大泉学園町までの延伸が決定していますが、これを本市を経由してJR武蔵野線東所沢駅まで延伸するよう、近隣自治体と協力し、国や東京都、埼玉県に要望しています。延伸が実現いたしますと、現在、市街化調整区域である市中央部を土地区画整理事業により市街化区域とし、新駅の設定および周辺の都市基盤整備を行います。これにより、市民の利便性がさらに向上するとともに、新たな定住者の増につなげることができます。

平成28年4月には、国の交通政策審議会において、大江戸線の延伸が意義あるプロジェクトに位置付けられました。今後も近隣自治



土地区画整理事業が進められる新座駅前

体と連携し、早期の延伸実現に向け積極的に取り組んでまいります。

新座ブランドを高める「新座快適みらいプロジェクト」

本市では、平成30年1月からの供用開始に向けて、新庁舎の建設を進めています。新庁舎での業務がスタートするのを期に、新たに2つのプロジェクトを始動しました。

1つ目は、「新座快適みらいプロジェクト」です。本市の魅力やイメージを広く市内外に発信し、ブランド力を向上させることを目的に、市民、大学、事業者などの



雑木林と野火止用水

皆さまに参画いただき「新座快速みらいプロジェクト会議」を立ち上げました。若い人たちの新たな発想や企画を取り入れ、市内で行われている祭りやイベントをさらに活性化してまいります。

また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックでは、本市にある陸上自衛隊朝霞訓練場が射撃競技の会場となります。国内外を問わず本市への注目度が高まると考えられますので、この機会を利用して本市の良さをさらにアピールしてまいります。さらに、ブラジル連邦共和国が、市内で事前キャンプを実施することが決定し、去る6月25日に覚書を締結しました。本年6月

には、同国のテコンドー選手団が、世界大会に向けた事前合宿を市内で行い、滞在期間中に選手と市民が交流する機会を設けました。東京オリンピック・パラリンピックの事前キャンプにおきましては、同国の皆さまをはじめ多くの方に本市に親しみを感じていただけるよう、選手と市民の交流機会を設けるとともに、こうした活動を積極的にアピールし、本市のブランド力向上に努めてまいります。

市民サービスを担う 職員の働き方改革

社会・経済情勢の変化に伴い、近年、市の業務は複雑・多様化し、業務量も増加しています。限られた職員数と時間の中で市政を運営していくためには、さらなる事務の効率化と、職員一人一人を大切に、働きがいのある職場環境を整えることが必要です。

そこで、2つ目の取り組みとして、新たに「仕事の見直しプロジェクト」を立ち上げました。これまでの仕事の進め方を見直し、職員の仕事に対する意識・働き方を刷新するとともに、ワークライフバランスにも配慮し、いきいき

と仕事に邁進できる体制を構築することとしました。この取り組みの1つとして、私を始め課長級以上の職員が「イクボス宣言」を行いました。今後もワークライフバランスに配慮した職場づくりと、職員のキャリアアップを積極的に支援してまいります。

おわりに

本市では、土地区画整理事業等の都市基盤整備や観光都市づくり

プロフィール

- ◆ 面積 22・8 km²
- ◆ 人口 16万5322人
- ◆ 世帯数 7万3383世帯

〔将来都市像〕連帯と協働で築く、雑木林とせせらぎのある 快適創造都市にすぎ

〔まちの特徴〕都市近郊で通勤、通学の利便性が高い一方、雑木林や農地等の自然環境にも恵まれるとともに、野火止用水、平林寺等の歴史的文化遗产



新座市長
並木 傑



が多数残されている都市
〔特産品〕にんじん、ほうれんそう、さといも、ぶどう、にんじんうどん
〔観光〕野火止用水、妙音沢緑地ほか
〔イベント〕大江戸新座祭り、野火止用水ホテルの夕べ、睡足軒の森紅葉ライトアップ、平林寺半僧坊大祭

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

「ベッドタウン」でありながら「観光地」を目指す

はじめに

河内長野市は、大阪府の中で南部に位置し、奈良県と和歌山県に接する人口約11万人のベッドタウン。かつては人口12万人を超えていましたが、著しい人口減少のあおりで10万人を切るのも時間の問題です。本市の名産は、何と云っても爪楊枝。一昔前は、日本



平成29年5月にオープンした道の駅「奥河内くろまろの郷」

全国で使用される爪楊枝の90%が河内長野で製造されてきました。現在は中国産が主流とはいえ、従来の流通網を利用した、爪楊枝取扱量としては今も本市が日本一。ほかにも、すだれが特産品として有名です。

自然豊かな奥河内

おくかわち奥河内。地域の7割が森林である本市を中心に、自然豊かな南河内の山岳地域を示すエリア名称です。平成21年3月に、本市の若手中堅職員9人から成る活性化プロジェクトチームが、「奥河内・湧くワク構想」という提案書を作成してから、奥河内という名称が使われ始めました。その後、大手広告代理店の力を借りて、「ちかくて、ふかい奥河内」というキャッチフレーズを作ったのですが、東京で

言えば、「多摩」地域の「奥」の「奥多摩」。それと似たようなイメージを創出させようという狙いがあります。交通機関を使えば、都心から30分強の圏内ですが、一度そのエリアに入ると奥が深いのです。そして、平成29年5月27日、「奥河内くろまろの郷」という名称で、本市に待望の「道の駅」がオープンしました。本施設は、大阪外環状線道路から600mほど外れていますが、近くには、大阪府立花の文化園や一級河川・石川があり、都心から近く、緑あふれる自然豊かな場所にあります。

また、大阪外環状線道路をさらに関西空港方面に進むと、子どもたちに大人気の関西サイクルスポーツセンターがあり、さまざまなお自転車で一日を過ごすことができます。近くには、滝畑地

区があり、奥河内というイメージにふさわしいハイキングコースがいくつもあります。サイクリストやランナーが自然を満喫しながら、余暇を楽しんでいる姿が見えます。

「ベッドタウン」頼みからの脱却

このように自然豊かな本市は、おいしい空気と水を強みとして、大阪都市圏のベッドタウンとして発展してきました。特に、1960年代から80年代にかけて、多くの方々がニュータウンに移住してきました。その当時、阪神地域では大気汚染や水質汚染が深刻な問題となっており、おいしい空気と水を求め、本市に子育て世代がこぞって移ってきたのです。

ところが、その子どもたちは、成長するとともに本市を離れ、年老いた両親だけが残り残りました。そのような世帯がたくさん見受けられ、今や、本市は、9町1村を除く大阪府内33市の中で、高齢化率第

1位、そして、少子化率も第1位。人口減少・少子高齢化社会の現状を考慮すると、ベッドタウン頼みから脱却しなければなりません。

しかしながら、産業誘致、例えば、製造業や小売業を誘致しようにも、山岳地形に加え、物流面が課題となつて、多くの企業に難色を示されます。本市は、大阪府内33市の中で高速道路の入り口までの距離が最も遠いのです。それゆえ、現在、大阪南部高速道路、略して、大南高を実現させようとしています。大南高という名称には、楠木正成の別称「大楠公」と同音に加え、大阪の現状「北高南低」の「南」を「大」大きく低から「高」へ押し上げるといふ願いも込められています。当然ですが、高速道路の実現は中長期の計画となります。

短期計画としては、観光振興によるまちの活性化を考えています。本市には、観心寺と金剛寺を中心し、国宝6点、重要文化財79点で、合計85点もの歴史遺産があります。この数、日本全国1718市町村（東京23区を除く）の中で、なんと第15位。

また、本市域では、西高野街道と中高野街道、そして、東高野街

道が合流し、高野詣での主街道となつた中世において寺院が隆盛しました。現在、観心寺と金剛寺を軸に「中世に栄えたまち」として、平成30年の日本遺産認定を目指しています。

本年は、本市を中心とした6市町村で、「楠木正成・正行親子ゆかりの地」として日本遺産を申請しましたが、残念ながら認定には至りませんでした。現在も、「楠木正成が学んだまち」として本市を売り出していますが、平成30年の日本遺産申請に関しては、人物よりも実物を重視し、国宝・重要文化財が豊富にある観心寺と金剛寺を中心に、ストーリー展開することにしました。

金剛寺は女人高野と言われ、女



平成21年度から平成大修理が行われている「天野山金剛寺」

人禁制の高野山に代わって、多くの女性が詣でた場所。また、南北朝時代の1354年から1357年までの約3年間、南朝の後村上天皇と北朝の光厳上皇、つまり、その当時の両朝のトップが通路を隔てて住んでいた場所としても有名です。また、観心寺には、楠木正成の首塚や、正成が湊川で戦死したために三重塔に至らなかつた建掛塔があります。

プロフィール

- ◆ 面積 109.63 km²
- ◆ 人口 10万7890人
- ◆ 世帯数 4万7393世帯

〔将来都市像〕人・自然・歴史・文化輝く ふれあいと創造のまち 河内長野
 〔まちの特徴〕大阪都市から約30分圏都会に近いのに、豊かな自然に恵まれ緑が深く、国宝6件をはじめ全国有数の歴史文化遺産を有するまち

〔特産品〕爪楊枝、すだれ、釘・鉄、ヘアリング、可鍛鑄鉄・ステンレス、



河内長野市長
島田智明



地酒、桃、梨、トマト
 〔観光〕大阪府立花の文化園、関西サイクルスポーツセンター、観心寺、天野山金剛寺、延命寺、烏帽子形城址、道の駅「奥河内くろまるの郷」、滝畑48滝、酒蔵通り
 〔イベント〕市民まつり、高野街道まつり、秋祭（だんじりなど）、奥河内口ゲイニング大会、商工祭、文化財ライトアップ、河内長野シテイマラソン大会、寺ヶ池公園クリスマスイルミネーション

おわりに

「ベッドタウン」でありながら「観光地」を目指すことで、本市を負のスパイラルから正のスパイラル（人口増加と経済成長を共に促進）に移行する起爆剤にしたいと考えています。交流人口の増加が、まちの雇用創出や魅力創出につながり、やがて、定住人口の維持、さら増加に至ることを願っています。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。

わが

生き残りではなく、勝ち残りを目指す
「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の
実現に向けて

西日本最高峰 石鎚山からの
恵みを受けたまち

西条市は、愛媛県東部の道前平野に位置する人口約11万人の地方都市です。市南部には西日本最高峰の石鎚山がそびえ立ち、石鎚山系からの伏流水は、実に800haにも渡る全国的にも稀な被圧地下水の自噴地帯を形成しています。



市内各所から良質な地下水が自噴する「うちぬき」

市内各所では約3000カ所から良質な地下水が自噴する「うちぬき」という現象が見られ、市民の約半数が地下水で生活しています。

また、日本一の生産量を誇るはだか麦や愛宕柿、春の七草など多種多様な農作物の一大産地であるとともに、非鉄金属、鉄鋼、機械などの分野を中心に四国最大規模の工業地帯を形成しています。

「ひと」と「しごと」の好循環が「まち」を活性化する

そのような環境に恵まれた本市ですが、ほかの地方自治体と同じく、高齢化の進展とともに、人口減少という未曾有の社会的課題に直面しています。本市が将来都市像である「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」を目指すとともに、私が公約として掲げた

「ワクワク度日本一のまち」を実現していくためには、恵まれた地域資源の価値を今一度見つめ直し、「ひと」と「しごと」の好循環を起こしていくことが大切です。

その大前提となるのが、地域に根差した魅力ある「しごと」の創出です。本市はこれまで産業支援機関である（株）西条産業情報支援センターとの二人三脚によって、全国的に注目される新産業創出の取り組みを展開してきました。また、昨今の特徴的な民間企業の動向としては、全国初の原木からCLT（Cross Laminated Timber）を一貫生産する製造工場の建設が進められています。まさにCLTは今後の注目されている分野であり、平成30年の本格稼働に向けて、官民協同体制の下、CLT製造工場を中心とした一大生産・加

工・販売拠点の確立に向けた取り組みを推進していきます。

また、本市は積極的に地産外産を推進しています。本年4月には、4年ぶりに西条市大阪事務所を復活しました。既に海外では「西条市ベトナムビジネスサポートデスク」を設置していますので、今後は国内外の拠点を生かした施策の展開を図り、特に地域経済の中心的な存在である中小企業の支援に力を入れてまいります。

住み続けたいくなる「スマートシティ西条」の実現

わが国全体が人口減少社会に陥る中、特に、若い世代の方に「西条という選択」をしていただくためには、「ここにしかない西条らしさ」を追求し、西条に住み続けたいと思っただけでいいことが大切です。それらを達成する手段として、昨今目まぐるしい発展を遂げ、時間と場所を超えて公共サービスの本質の向上が可能となる情報通信技術（ICT）に着目してい

ます。中でも、若い世代の方に安心して住み続けていただくためには、「教育」と「健康」に力を注ぐことが大切だと考えています。

本市は、市内小中学校のすべての教室に電子黒板などICT教材を導入しています。既に学力向上や教職員の負担軽減などの効果が見られており、各方面からの注目をいただいています。今後は学校単位の枠を超えて、企業、地域、国際社会と連携した取り組みに発展させてまいります。

また、今後は健康で日常生活を送ることができる「健康寿命」の延伸についても積極的に取り組んでまいります。この点においてもICTの特長を生かし、市民、企業、行政が一体となった取り組み



市内小学校でのICT教育授業風景

を推進してまいります。

「選ばれるまち西条」に向けた シティプロモーション

そのような環境をもとに多くの方に「西条という選択」をしていただくためには、訴求させたいターゲットを絞り込み、本市の魅力情報効果的に発信することが求められます。本年4月には経営戦略部にシティプロモーション推進課を設置し、市長特命事項としてシティプロモーション戦略の策定に取り組みこととしています。

また、単独の自治体だけの取り組みでは情報発信の手段や効果も限定的となるため、市域や県境を越えた広域連携によって施策を推進する取り組みを展開しています。本年3月には、久万高原町(愛媛県)、いの町、大川村(高知県)に本市を加えた4市町村が「石鎚山系のブランド価値創造に向けた包括的連携協定」を締結しました。今後は県境を越えた4市町村が共同で、西日本最高峰である石鎚山に関するイベント開催や情報発信に取り組みこととしています。また、地方都市の経済を支える中小企業支援についても、瀬戸内工業

地域の中心都市である「愛媛ものづくり三都(新居浜市、西条市、四国中央市)」による広域連携を図り、人材確保や知名度向上にかかる取り組みを推進しています。

未来に向けて期待感あふれる 「ワクワク度日本一のまち」へ

西日本最高峰である石鎚山からの恵みを受け、本市には魅力あふれる地域資源が多く存在しています。

プロフィール

- ◆ 面積 509.98 km²
- ◆ 人口 11万1067人
- ◆ 世帯数 5万520世帯

〔将来都市像〕人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市

〔まちの特徴〕四国山地と瀬戸内海の豊かな自然に恵まれ、西日本最高峰石鎚山と名水百選の「うちぬき」が有名

〔市町村合併〕平成16年11月1日 西条市、東予市、丹原町、小松町が合併



西条市長
玉井敏久



〔特産品〕愛宕柿、はだか麦、七草、キウイフルーツ、絹かわなす、黒ばら海苔、鉄板ナポリタン

〔観光〕石鎚連峰、鉄道歴史パーク in SA-IJO、石鎚山ハイウェイオアシス館、本谷温泉、四国霊場(5カ寺)

〔イベント〕西条まつり、西条市おかげん祭、丹原七夕夏まつり、小松町ふるさと祭り、STONE HAMMERfes

す。私は市民の皆さまとともに「宝」多くの可能性に息吹を注ぎ込んでいきたいと思えます。そして、私たちが暮らす西条に誰もが誇りや愛着を持ち、ほかの地域に住む方がうらやむような「ワクワク度日本一のまちづくり」に果敢にチャレンジすることで、将来都市像である「人がつどい、まちが輝く、快適環境実感都市」の実現を目指してまいります。

※面積は国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」に、人口・世帯数は「住民基本台帳」による。